

## シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

### 【第57回】

浅川小学校区「長野市版放課後子どもプラン」  
～ 地域の方々に支えられ、たくましく成長する ～

長野市立浅川小学校長 閏 間 昇

平成 20 年2月、長野市では放課後等の児童の安全で安心な活動場所を確保し、遊びや学びを通して児童の健全育成を願い、「長野市版放課後子どもプラン」をスタートしました。平成 20 年度は4小学校区をモデルとしてスタートし、既存の「児童館」「児童センター」と学校内の利用可能な教室等を拠点に体育館・校庭を使用して実施する「子どもプラザ」とが連携し、地域の実情にあった活動を進めています。現在、市内 56 小学校区のうち 44 小学校区で実施されていて、全小学校区の早期実施を目指しているところです。

本校は長野市の北部に位置し、NAGANO オリンピックでボブスレー・リュージュ競技が行われた山麓施設「スパイラル」を学区に抱え、緑に囲まれた自然豊かな学校です。

学校から 300mほど坂道を登ったところに「浅川児童センター」があります。1年生から3年生までの登録児童は、下校後児童センターへ「ただいま。」とあいさつして帰り、保護者の方が迎えに来られるまでの間、遊びや生活、学び、交流の場となっています。

また、「浅川子どもプラザ」は、当初約 20 名の地域ボランティアの方が校内で行っていた「放課後子ども教室」を、地域の方々のご理解のもと、平成 20 年度に全学年の希望児童が利用できるように拡大したものです。余裕教室である西校舎3階の2つの教室を拠点として、現在約 200 名の児童が登録・利用しています。

「児童センター」も「子どもプラザ」もそれぞれの施設の計画による活動の他に、市の有償ボランティア登録制度である「アドバイザー制度」を活用しています。大学生・短大生を含めた多くの市民ボランティアのご支援、ご協力により、ドッジボールやゲーム遊びなど体を使った各種運動や竹細工・しめ縄作りなどの伝承的体験活動、学習（宿題サポート）、諸行事等が日常的に行われ、子どもたちの成長にたくましさややさしさを感じています。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第189号に掲載）